

令和 6 年 3 月市議会定例会

病院事業局

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和 6 年度病院事業会計予算（案）総括表	1 頁
2	令和 6 年度病院事業会計予算（案）の主な事項	1 頁
3	令和 6 年度病院事業会計予算（案）	5 頁
4	医療器械整備事業について	7 頁
5	電話交換機及びナースコールシステムの更新について	9 頁
6	電子カルテシステム等の更新について	10 頁

【予算案件】

1 令和6年度病院事業会計予算（案）総括表

（単位：千円）

		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増 減 (A - B)	対前年度比 (A / B)
収益的 収支	病院事業収益	14,992,645	14,526,484	466,161	103.2%
	1 医業収益	13,671,375	12,722,737	948,638	107.5%
	2 医業外収益	1,321,260	1,803,737	▲ 482,477	73.3%
	3 特別利益	10	10	0	100.0%
	病院事業費用	15,198,207	14,544,349	653,858	104.5%
	1 医業費用	14,877,607	14,284,318	593,289	104.2%
	2 医業外費用	320,300	259,731	60,569	123.3%
	3 予備費	300	300	0	100.0%
	差 引	▲ 205,562	▲ 17,865	▲ 187,697	
資本的 収支	資本的収入	1,382,146	1,005,010	377,136	137.5%
	資本的支出	1,969,164	1,670,230	298,934	117.9%
	差 引	▲ 587,018	▲ 665,220	78,202	

2 令和6年度病院事業会計予算（案）の主な事項

（1）患者数と診療単価、入院・外来収益

		市民病院	まちなか病院
一 日 平 均 入 院 患 者 数	R6	4 1 8 人	4 3 人
	R5	3 9 1 人	4 3 人
入 院 患 者 一 人 一 日 当 た り 診 療 単 価	R6	5 9, 3 7 4 円	3 4, 5 0 0 円
	R5	5 7, 9 1 2 円	3 4, 4 0 0 円
入 院 収 益	R6	9, 0 5 8, 6 9 7 千円	5 4 1, 4 7 7 千円
	R5	8, 2 8 7, 5 6 9 千円	5 4 1, 3 8 7 千円
一 日 平 均 外 来 患 者 数	R6	9 6 9 人	1 0 4 人
	R5	9 6 2 人	1 0 2 人
外 来 患 者 一 人 一 日 当 た り 診 療 単 価	R6	1 2, 8 7 2 円	1 5, 1 9 6 円
	R5	1 2, 6 0 3 円	1 5, 4 4 5 円
外 来 収 益	R6	3, 0 3 0, 9 2 6 千円	3 8 2, 7 3 8 千円
	R5	2, 9 4 6, 1 2 3 千円	3 8 2, 6 7 0 千円

※入院日数365日（前年度366日） 外来日数243日（前年度243日）

(2) 重点事項

- ① 経営強化プランに基づき更新した経営改善計画に掲げる施策を着実に実行し、両病院において安定した経営を実現する。
- ② 地域医療を担う公立病院として、質の高い医療を提供するため、必要な医療資源を確保し、持続可能な医療提供体制の構築に努める。

(3) 主な取組事項（経営改善計画の基本方針に基づく令和6年度の行動計画の柱）

① 広報強化などを通じた両病院の認知度の向上

- (ア) 開業医等へ両病院の機能等の情報提供や症例検討会の開催のほか、広報誌の発行などを通じた地域の医療機関との連携強化等による新規入院患者の確保
- (イ) 市民病院内のデジタルサイネージ等を活用した、病院のイメージアップに繋がるコンテンツの発信
- (ウ) 急性期医療を担う市民病院から回復期医療を担うまちなか病院地域包括ケア病床へのスムーズな転院によるシームレスな医療連携体制のアピール
- (エ) 医療のデジタル化の推進
 - ・地域のかかりつけ医との一層の連携強化を念頭に、医療画像等を共有するための情報システムの活用や将来的な医療機関の相互間における紹介状の授受に加え、予約や診療情報の共有に向けた検討

② 患者数の増加

（患者受入等の強化、医療の質の向上、患者満足度の向上、病院設備等の整備など）

(ア) 患者受入等の強化

- ・救急と病床管理部門との連携による「断らない救急」の継続
- ・地域の医療機関からの積極的な患者の受入と、後方連携の強化
- ・健診事業における、二次検診からの入院患者の獲得
- ・外来患者への定期的な画像診断や検査等による疾患の早期発見と速やかな治療の実現

(イ) 医療の質の向上

- ・チーム医療の推進による安全で質の高い医療の提供
- ・医療スタッフへの研修の充実

(ウ) 患者満足度の向上、病院設備等の整備

- ・計画的な修繕や医療機器の整備による病院機能の維持・向上及びアメニティの向上による患者満足度の向上

(エ) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- ・市民病院（第二種感染症指定医療機関）において、感染症病床の継続確保（6床）
- ・感染拡大時に備え、N95 マスクやアイソレーションガウン等の感染防護用診療材料等の備蓄継続
- ・市民病院とまちなか病院の両病院間における看護師の相互協力等柔軟に対応できる人員体制の維持

③ 収益性の改善

（収入増加の取組、支出削減の取組 など）

(ア) 収入増加の取組

- ・原価計算やDPC分析等による、現行の施設基準及び算定している診療報酬の継続的な検証と診療報酬改定に伴う新たな基準や加算等の取得

(イ) 支出削減の取組

- ・職員のコスト意識及び価格交渉力の向上
- ・両病院間の採用薬の統一化による後発医薬品の採用拡大及び医薬品の融通による有効活用並びに診療材料の包括購入の推進
- ・医療システムの更新等における全体最適化（標準パッケージの適用や更新時期の調整など）による費用の削減

④ まちなか病院のあり方検討

・まちなか病院の現状

まちなか病院は、まちなか地区にある唯一の公的病院として、地域住民をはじめとした市民へ良質な医療を提供する使命がある。しかしながら、建設から60年余りを経過し、施設の老朽化が著しく、医療サービスの低下も懸念される。

・あり方検討協議会からの意見

『富山市病院事業のあり方検討協議会』では、まちなか病院が果たす役割や機能を改めて評価し、整備の必要性についても早々に検討するよう求められた。

・令和6年度の取組

令和6年度は、新たなまちなか病院における診療科や病床数といった機能等を検討するとともに、施設の整備方針についても、財政面や建物のライフサイクルコスト、立地等を検討した上で、基本構想として取りまとめる。

(4) 主な建設改良費 病院の施設整備及び医療器械等の整備

予算費目	概 要
施設工事費	① 老朽化した施設の更新 ・空調機外更新工事 合計 27,632千円
資産購入費	① 医療器械の購入 ・頭腹部血管造影装置 ・全身用X線CT診断装置 ・3D撮影対応移動型X線透視撮影装置 ・ポータブルハイブリッド血管造影システム ・多項目自動赤血球分析装置 等 合計 636,802千円 ② 医療システムの更新及び備品の購入等 ・電話交換機（更新） ・ナースコールシステム（更新） ・電子カルテシステム等（更新）等 合計 544,820千円

3 令和6年度病院事業会計予算（案）

（1）収益的収入及び支出

科 目	R 6 年度 当初予算（案）		
	(A)	市民病院	まちなか病院
病院事業収益	14,992,645	13,902,983	1,089,662
1 医業収益	13,671,375	12,657,731	1,013,644
(1)入院収益	9,600,174	9,058,697	541,477
(2)外来収益	3,413,664	3,030,926	382,738
(3)その他	657,537	568,108	89,429
2 医業外収益	1,321,260	1,245,242	76,018
(1)他会計補助金	432,779	390,611	42,168
(2)補助金	24,505	24,505	0
(3)他会計負担金	787,611	755,148	32,463
(4)長期前受金戻入	21,744	21,109	635
(5)その他	54,621	53,869	752
3 特別利益	10	10	0
病院事業費用	15,198,207	14,068,202	1,130,005
1 医業費用	14,877,607	13,791,144	1,086,463
(1)給与費	7,996,715	7,394,513	602,202
(2)材料費	3,092,964	2,929,016	163,948
(3)経費	2,906,326	2,609,277	297,049
(4)減価償却費	812,757	793,532	19,225
(5)その他	68,845	64,806	4,039
2 医業外費用	320,300	276,758	43,542
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	21,878	21,404	474
(2)その他	298,422	255,354	43,068
3 予備費	300	300	0
差 引	▲ 205,562	▲ 165,219	▲ 40,343

（2）資本的収入及び支出

科 目	R 6 年度 当初予算（案）		
	(C)	市民病院	まちなか病院
資本的収入	1,382,146	1,054,589	327,557
1 企業債	1,199,500	877,700	321,800
2 出資金	182,636	176,879	5,757
3 県補助金	0	0	0
4 寄附金	10	10	0
資本的支出	1,969,164	1,615,854	353,310
1 建設改良費	1,209,254	886,758	322,496
(1)施設工事費	27,632	27,632	0
(2)資産購入費	1,181,622	859,126	322,496
2 企業債償還金	759,910	729,096	30,814
差 引	▲ 587,018	▲ 561,265	▲ 25,753

(単位：千円)

R 5 年度 当初予算 (B)	市民病院	まちなか病院	増 減 (A - B)	対前年度比 (A/B)	備 考
14,526,484	13,453,166	1,073,318	466,161	103.2%	
12,722,737	11,718,290	1,004,447	948,638	107.5%	
8,828,956	8,287,569	541,387	771,218	108.7%	
3,328,793	2,946,123	382,670	84,871	102.5%	
564,988	484,598	80,390	92,549	116.4%	一般会計負担金、室料差額収益等
1,803,737	1,734,866	68,871	▲ 482,477	73.3%	
472,523	433,960	38,563	▲ 39,744	91.6%	一般会計補助金
565,833	565,833	0	▲ 541,328	4.3%	県補助金
674,707	645,367	29,340	112,904	116.7%	一般会計負担金
29,254	28,961	293	▲ 7,510	74.3%	
61,420	60,745	675	▲ 6,799	88.9%	施設使用料等
10	10	0	0	100.0%	
14,544,349	13,458,457	1,085,892	653,858	104.5%	【市民病院】
14,284,318	13,216,610	1,067,708	593,289	104.2%	職員数756人(うち再任用14人)
7,735,988	7,155,252	580,736	260,727	103.4%	【まちなか病院】
2,852,939	2,684,977	167,962	240,025	108.4%	職員数48人(うち再任用0人)
2,749,173	2,449,324	299,849	157,153	105.7%	
877,000	862,116	14,884	▲ 64,243	92.7%	建物・器械備品等の償却
69,218	64,941	4,277	▲ 373	99.5%	研究研修費等
259,731	241,547	18,184	60,569	123.3%	
18,688	18,641	47	3,190	117.1%	
241,043	222,906	18,137	57,379	123.8%	雑損失等
300	300	0	0	100.0%	
▲ 17,865	▲ 5,291	▲ 12,574	▲ 187,697		

(単位：千円)

R 5 年度 当初予算 (D)	市民病院	まちなか病院	増 減 (C - D)	対前年度比 (C/D)	備 考
1,005,010	954,953	50,057	377,136	137.5%	
870,600	826,300	44,300	328,900	137.8%	施設工事債、資産購入債
134,400	128,643	5,757	48,236	135.9%	一般会計出資金
0	0	0	0	-	
10	10	0	0	100.0%	
1,670,230	1,597,362	72,868	298,934	117.9%	
849,699	805,320	44,379	359,555	142.3%	
70,400	70,400	0	▲ 42,768	39.3%	空調機外更新工事
779,299	734,920	44,379	402,323	151.6%	頭腹部血管造影装置、電子カルデシステム等
820,531	792,042	28,489	▲ 60,621	92.6%	
▲ 665,220	▲ 642,409	▲ 22,811	78,202		不足額は内部留保資金で補填

4 医療器械整備事業について

[契約出納課、総務医事課]

(1) 予算額 636,802千円

財源内訳	企業債	636,800千円
	医業収益	2千円

(2) 事業目的

市民病院は高度急性期医療を提供する二次救急医療機関として、また、まちなか病院は急性期病院の後方連携病院として、地域医療を守り、必要な診療を継続するため、医療器械の整備を行うもの。

(3) 導入する主な医療器械

ア 市民病院

(単位：千円)

診療科	医療器械名	予算額
放射線技術科	頭腹部血管造影装置	220,000
放射線技術科	全身用X線CT診断装置	117,800
整形外科	3D撮影対応移動型X線透視撮影装置	82,500
血管外科	ポータブルハイブリッド血管造影システム	57,475

イ まちなか病院

(単位：千円)

診療科	医療器械名	予算額
検査科	多項目自動赤血球分析装置	7,700

(4) 医療器械の概要

ア 頭腹部血管造影装置

カテーテルを使って血管内に造影剤を注入し、頭腹部の血管の形状や異常、血流状態を検査・治療する装置。

令和5年度末で保守対応が終了し、修理用の部品供給も打ち切られることから更新するもの。



イ 全身用X線CT診断装置

X線を照射し、体の断面画像を撮影する装置。

老朽化のため、故障する機会が増えていることに加え、故障が生じたときには、復旧に半日から一日程度を要することから、更新するもの。



ウ 3D撮影対応移動型X線透視撮影装置

手術中に関節面の整復状況やインプラントの設置状況を3D画像で確認する装置。

故障時に交換部品の入手が困難になってきていることから更新するもの。



エ ポータブルハイブリッド血管造影システム

ステンドグラフト手術を実施する装置。

医療安全を確保する観点から手術室での施術ができるよう導入するもの。



オ 多項目自動赤血球分析装置

血液中の赤血球や白血球等の測定を行う装置。

令和6年度に修理対応及び試薬の販売が終了することから更新するもの。



5 電話交換機及びナースコールシステムの更新について

[経営管理課、契約出納課]

(1) 予算額 85,784千円

財源内訳	企業債	85,700千円
	医業収益	84千円

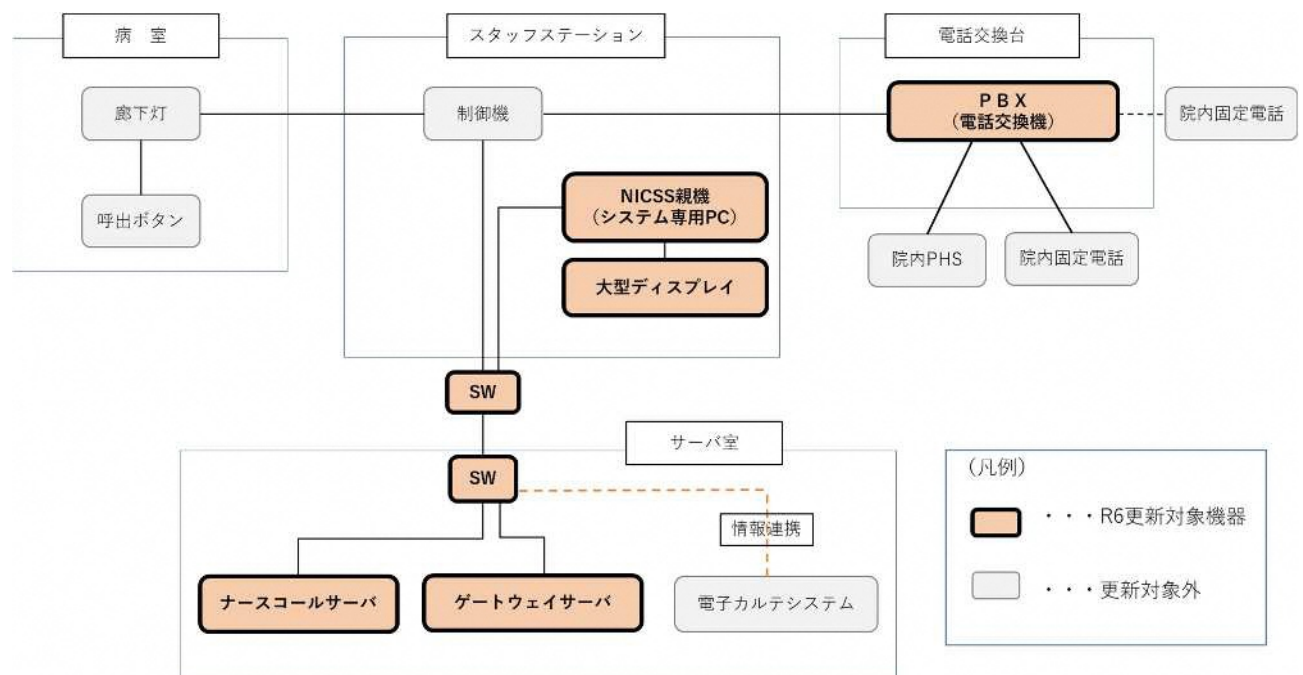
(2) 事業目的

病院機能維持に不可欠な、老朽化した電話交換機及びナースコールを更新するもの。

(3) 概要

市民病院の外線及び内線（PHSを含む。）の電話回線を取りまとめ、接続を制御している電話交換機と、病室にいる患者が看護師を呼び出すために用いるナースコールシステムを更新するもの。当院のナースコールシステムは、院内のPHSと連動して稼働することから、同時に更新し費用の削減を図る。

(4) 機器構成図



6 電子カルテシステム等の更新について

[総務医事課]

(1) 予算額 300,000千円

(財源内訳 企業債 300,000千円)
医業収益 0千円

(2) 事業目的

まちなか病院で使用している電子カルテシステムや医事会計システム等の医療情報システムに係るハードウェア及びソフトウェアについて、システム業者による保守サポートが令和6年度末で終了を迎えることから、それまでに該当するシステム一式を更新するもの。

(3) 委託業務の概要

①委託期間 令和6年6月1日から令和7年3月31日

②委託内容 電子カルテシステム等医療情報システムの更新業務

・パッケージシステム及びシステム用機器の調達、システムの再構築、
現行システムからのデータ移行、職員研修 等

システム名	概要	更新費用
電子カルテシステム	医師が作成する診療記録を電子化し、保存・管理するシステム	240,000 千円
医事会計システム	診療報酬の算定やチェックなどのレセプト業務を自動化するシステム。	
部門システム (健診システム、調剤支援システム、検査情報処理システム等)	薬剤部門や臨床検査部門など各担当科で使用する業務システム。電子カルテシステムと連携して稼働。	60,000 千円

(4) スケジュール

令和6年5月まで

本業務の受託業者選定、契約締結

令和6年6月～令和7年2月

関連機器の調達、システム再構築、職員研修等

令和7年2月末

再構築されたシステムの稼働